

2017 前期 LS [0821]

受験番号

2017 年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

専門論文試験 民事訴訟法・刑事訴訟法

(120分)

受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は2ページである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は民事訴訟法と刑事訴訟法各1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 解答は、該当する科目の解答用紙を使用すること。解答用紙を誤った場合、その答案は無効となる。
5. 答案は、横書きとする。
6. 答案は、実線内の番号に従って書き進めること。
7. 答案は、黒ボールペン（但し、フリクション等の消せるボールペンは不可）または黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答案は、無効となる。
8. 答案を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
9. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
10. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

専門論文試験 民事訴訟法

【問題】

以下の設問に解答しなさい。

- [設問1] 未成年者が単独で行った訴訟行為の効力について説明しなさい。
- [設問2] すでに別訴の訴訟物となっている訴求債権を自働債権とする相殺の抗弁に、民事訴訟法142条の類推適用があるか否かについて論じなさい。
- [設問3] 証明責任とはどのような概念か、説明しなさい。

専門論文試験 刑事訴訟法

【問題】

次の項目について、簡潔に説明しなさい（なお、判例を前提にしなさい。）。

- (1) 警察官が身分を秘して覚せい剤密売人に覚せい剤購入の申込みをする捜査方法について
- (2) 逮捕した後、勾留までの手続について
- (3) 公判前整理手続の目的と進行の概要について